

1. 現在、日本では9月の第三月曜日は何の日か？
2. SFアニメ作品『鉄腕アトム』の「アトム」は、日本語での本来の意味は何か？
3. 日本の大相撲は毎年、六場所で行われる。初場所、夏場所及び秋場所は東京の新国技館で開催されるがほかの三場所の開催地はそれぞれ日本のどの都市か？
4. 日本平安時代初期の六歌仙の中で唯一の女性であり、書かれた歌のうち、66首が『古今集』後の勅選集に選ばれた有名な歌人であった。と同時に、有名な美人でもあった。この方の名前は日本古代美人の代表ともなった。日本女性の名前に出た「○○小町」というのは、本人が世間一般に認められた美人であることを表す。彼女の歌集には『小町集』がある。この方の氏名は何か。
5. 日本の風俗などを描く江戸時代に興った独特の芸術である。主に人々の日常生活、風景、演劇などを描く。日本の挿絵絵本の起源でもあり、版画木刻形式としては、主に「絵本」と「一枚絵」の二種類がある。この絵画形式は何か。
6. 室町時代に、能楽を大成した人物は観阿弥とその息子の世阿弥であった。世阿弥が書かれた能楽に関する理論書籍の名前は何か。
7. 日本の英文学研究家、日本文学評論家であり、京都大学教授でもあった。欧米文芸と近代思潮の日本への導入に努め、『印象記』『象牙の塔を出て』『近代の恋愛観』『苦悶の象徴』などの作品がある。1923年の関東大震災の時遭遇し、鎌倉で死去。この方の氏名は何か。
8. 皇室の別荘地であり、今から370年余りに建てられた古い庭園式の建物である。京都西部の桂川の西側に位置しており、最初の名前は桂山荘であった。日本政府が1976年から5年間ぐらいかかり、それを修繕した。その中の建築と庭園は、和式建築の傑作とされる。「日本的な美」を有し、日本古代建築の調和的な風格が十分に表されたと思われる。この皇室の別荘は、何と言う名前か。
9. 19世紀、劇作家の曲亭馬琴によって著された読本であり、江戸時代の劇作文学の代表作である。室町時代の歴史が背景にされ、物語の叙述手法からは、中国の『封神演義』から深い影響を受けたことが分る。この作品は何か
10. 明治後期から昭和初期にかけて活躍した幻想文学の大師であり、美への追求理念とロマンティズムが日本文学を豊かにした。『夜行巡查』『外科室』などの小説にて文壇でデビューした後、『高野聖』などロマンチックな小説を創作した。『天守物語』などの劇曲台本は、傑作と言われる。この方の氏名は何か。
11. 2008年5月、中国国家主席胡錦濤が訪日した際、日本の松山バレエ団へ行き、友人の清水正夫一家を訪ねた。その松山バレエ団の現任団長は誰か
12. 宝塚歌劇団は日本で有名であるが、現任総理大臣の奥様、鳩山幸も宝塚歌劇団の元団員である。1999年、劇団の「月組」が初めて訪中し、今年に「中日国交正常化30周年」のために、劇団「星組」が9月に再度北京で公演した。宝塚歌劇団は女性だけの劇団であり、五つの組と一つの「専科」に分けられる。上に出た「月組」と「星組」以外に、

ほかの三組の名称は何か。

13. 日本近現代の邦楽界、歌謡浪曲界でトップアーティストの一人であり、歌作品に豊かな民俗色が感じられる。日本の紅白歌合戦に 31 回も登場し、最も有名な歌作品は、1964 年東京五輪のテーマ曲『東京五輪音頭』と 1970 年大阪万博のテーマ曲『世界の国からこんにちは』である。この方は誰か。
14. 2003 年 11 月 4 日、日本郵便は 2 枚/セットの日本文化名人の記念切手を発行した。一人は細菌学者の北里柴三郎。もう一人は日本の短歌詩人である。この方は東京大学医学部に入学した時から短歌の創作を始め、初歌集『赤光』が 1913 年に出版され、歌壇から注目を浴びた。1921 年から 1924 年までヨーロッパへ留学した。歌集には『あらたま』、『白桃』などがあり、「歌聖」とも呼ばれた。この短歌詩人の氏名は何か。
15. 仏教著書であり、聖徳太子が『法華経』『勝鬘経』『維摩経』の三仏教に対して注疏した著作であるとの説がある。日本人によって撰された最初の漢文書籍の一つであるとも言われる。この著書の書名は何か。
16. 日本の思想界と文化界の著名学者であり、作品『日本文学史序説』は日本思想と文学に関する研究の傑作である。医学と生物学の「交雑優生」や「進化論」などの理論をもって「西洋文化はすでに日本文化の根底に深く浸透している」と論じたと同時に、「日本文化は原住民文化の深層累積の中で形成された」とも指摘した。それにより、「日本文化雑種論」の見方を提出した。この学者の氏名は何か。

1. 敬老の日
2. 「原子」
3. 大阪・名古屋・福岡
4. 小野小町
5. 浮世絵
6. 『風姿花伝』
7. 厨川白村
8. 桂離宮
9. 『南総里見八犬伝』
10. 泉鏡花
11. 森下洋子 (松下洋子)
12. 花組・雪組宙組み
13. 三波春夫
14. 斎藤茂吉
15. 『三経義疎』
16. 加藤周一